

第1回米原市定例教育委員会

日 時：平成29年 1月25日

午後3時30分開会

場 所：山東庁舎 3階 第2委員会室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 本庄委員 山本教育長

教 育 部 長：田中部長

教 育 総 務 課：仲谷課長

学 校 教 育 課：藤木課長

生 涯 学 習 課：丸本次長

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：大澤課長

図 書 館：今川副館長

書 記：澤

(欠席者) 近藤委員

1 開 会

2 委員長あいさつ

みなさんこんにちは。ついこの間新年を迎えたと思ったら日の経つのは早いもので1月下旬となりました。年初めには仕事始め式や管理職会議、成人式などいろいろな行事に出席させていただきました。管理職会議が終わった後に、定着してきました退職される校長先生のお話を聞く会があり、今年は河南中学校の三輪先生と双葉中学校の中島先生のお話を聞かせていただきました。普段は校長先生の思いを聞かせていただく機会がないので毎月の学校だより等を読ませていただいて先生の教育に対するお考えを見させていただいています。あのような会がここ数年続いてきましたので、退職される先生の思いを60歳になってストップではなく、今後の米原の教育のために先生が現場で御指導いただけるよう教育センターの研修の講師になっていただくのもひとつですし、講義ではなくスキー教室等の講師に応援に来ていただくなど含めながら、「ゴールは先にある」という話をしました。そういった意味で、終わりということではなく今後もいろいろな形で米原の教育行政に関わっていただく機会があると良いと思います。

お二人の先生は、長浜の勉強会等に参加されていたことをよく聞いていました。三輪先生の話の思い起こしますと「生徒がいない教室を見るとその先生の学級経営がよく分かる。子どもが全くいない放課後などに行くと、普段の教育に対する考え方や指導ぶりが分かる」と話されていました。私も「トイレの中の教育」をよく話していました。見えない部分を

大事にするというそんなことも思いです。私の発案でこの会が定着してきたので私も大変嬉しく思っています。

もう一点は、新年が始まって暖かい毎日でしたが、先週は雪も積もりました。子どもたちは喜んで朝から晩までソリなどで滑ったりして楽しんでいるのではないかと思います。最近は雪と戯れる機会が減ってきたように感じますし、大人でも雪と関わる機会が減ってきたと思います。昔は雪どけをしながら隣人同士が話をしたり地域で助け合うといった光景が目には焼きついています。今は融雪等もあって楽ですが地域の人たちが声を交わす機会が減ってきてさみしく感じます。大人社会がそういうことになってくるので、子どもも同じということになってきます。時代とともに変わってきたのですが、そういった点では子どもの成長にとっては大人社会の変遷も良いのですがあまりプラスになっていないように思います。

もう一点、新年のいろいろなテレビ番組がありましたが、オリンピックと同じく感動をもらった場面がいくつかあったと思います。一つは都道府県対抗の駅伝、雪が降る中を懸命に走る女子選手がたすきを渡す姿や、滋賀県の男子選手が今までになくトップでずっと走っていた姿、そして全日本卓球の女子シングルス決勝で平野選手が優勝した姿。平野選手は3歳の頃から卓球をし、4歳で全国大会出場、小学校1年生で全国チャンピオンになっている。まさに継続して努力し優勝した。そして、本日横綱になった稀勢の里の懸命に堪える姿。新聞等を見ていると「堪えられたのはどのような力があつたのですか」との問いに、亡くなられた親方の力もありますが、その次に「中学校時代の恩師の先生の支えがあつた」と言われていました。中学校を卒業し相撲界に入って15年、本日19年ぶりに日本人としての横綱が誕生し、私も彦根の東中学校に赴任していた時、蒼樹山(元力士)が卒業する時に一時的に担任をしていましたが、蒼樹山も中学校卒業で相撲界に入門したので、ちょうど稀勢の里と同じだなと思いを重ねていました。大多数の子が進学する時に一人相撲の世界に入り、その中で他の子に負けないよう社会的な常識も備えて育てていく。「横綱の名に恥じぬよう精進します」といったひと言が実に重みのある言葉だと感じました。そういった事を考えますと、中学校ですと進路指導などでいろんな相談に乗っておられる先生があるのではないかと思います。一人一人最後の最後まで子どもたちをしっかりと送り出し、卒業してからも関わりがあるように先生方も頑張る、それが教員としての子どもに返す一つの責任ではないかと思います。

先日の成人式に中学校の先生方がたくさん来ておられました。支援学級の先生方が全員来られていたか分かりませんが、子どもから見れば結びつきが違います。クラスの中で担任の先生1人対30人と、1人対3人だと関わり方がやはり違う。そういう点では、教育の場面で一人一人の子どもに誠心誠意向き合いながらともに成長する、そんなことを稀勢の里の事と重ねながら思い、教員としての仕事の重みも感じたわけであります。

本日は大変寒い中御苦勞様です。よろしくお願ひします。

3 会議録承認

1月定例会議事録 承認

4 教育長報告

【山本教育長から報告】

前は12月16日に開催し、その後は総合教育会議にもお世話になり、ありがとうございました。

1月に入り4日には仕事始め式、5日には管理職会を実施しました。今回は教育振興基本計画が議会で認められたところで、特に理念である「ともに学び、ともに育つ、学びあいのまち まいばら～自分もひと大切にし、地域を誇る人づくり～」の思いも伝えさせていただき、29年度に向けた準備をお願いしたいと話しました。そして今ほど委員長からの話にもありました退職校長の話もしていただいたところです。8日には成人式があり、市長、副市長、委員長、私、そしてほとんどの中学校から恩師もたくさん来ていただきました。成人を迎えた方の出席率は85%で、来賓の方から米原市の成人式が他市に比べて「聞く姿勢が非常に良く素晴らしかった」とお褒めの言葉をいただいたことも非常に良かったと思います。毎年成人式が慌れる地域があったりし、教育部としてはこの成人式を子どもたちがどのような成長の過程で迎えるかといった責任も感じているところでもありますので非常に良かったかなと思っています。11日から市の次年度の復活予算の審議もしており、教育委員会もいろいろポイントとなる所の説明もさせていただいています。特に話題になる所は、教育振興基本計画の推進に当たって具体的な推進を図っていくべきだと思います。

もう一つは子どもの貧困と学力の部分で、どの子にも義務教育を終える時には最低限必要な学力は身に付けさせていくべきだと思います。これにつきましては、次年度検討課題として動いていきたいと思っています。また、小中学校の人事異動に関わるヒアリングを先週末から今週初めにかけて県教育委員会を交えて実施させていただき、今月いっぱい整理し県教委に提出して今後人事のやりとりが始まるところです。昨日はB&Gの全国サミットに副市長と私が参加し、そこでもらった情報も伝えながら関係部署に働きかけるような指示を出しています。

教育総務課におきましては、12月議会で承認を得ました補正予算で、大原小学校と河南小学校のグラウンドの改修工事の契約審査、入札が今後行われます。そして小中学校で防犯カメラが付いていない学校への防犯カメラの設置についても審査会、2月に入ってから入札で今動いてもらっています。また、まいばら認定こども園の設置協議会の方も順調に進めていただき、平成30年4月に開園となりますが園歌、園章の募集から最終審査も終わり決定したところです。

学校教育課につきましては、先ほどの人事ヒアリングもやっております。1月13日に

三日月滋賀県知事が米原市で生活をして大津に行かれるという中で、春照小学校の「すこやかタイム」やICTを使った「健康プログラム」の視察に来ていただき、県も「改めて次のステージに向かうような企画を考えよ」と指示を出されるということです。また、インフルエンザによる学級閉鎖も少しずつ出だし、認定こども園でも閉鎖が出ていると聞いています。今後教育センターの調査研究発表大会も2月14日に開催しますので時間があれば御出席を賜りたいと思います。

生涯学習課におきましては、成人式実行委員会の開催や成人式、1月7日には女性の会も関わっての玉木幸則さんの講演会で、「障がいがある方が地域でいかに生きていくか」といった話をさせていただきました。たくさんの方が参加され、玉木さん御自身の経験から障がい者差別解消に向けた姿勢や考え方をきっちりとお話しされ、大変有意義な講演会であったと思っています。1月27日は同和教育推進本部の研修会も行う予定です。

歴史文化財保護課につきましては、歴史講座等を行っていただいておりますが、1月22日には文化財防火デーにちなんで防火訓練も行っていただきました。メインは観音寺で、例年どおり福田寺は午後に独自で長沢区として行っていただいております。毎年1月下旬から2月上旬にかけて小学校3年生が社会科の学習として「昔のくらし体験」を行っていますが、今年も伊吹山文化資料館で地域の方の支援のもとに体験活動をさせていただいているところです。

学校給食課におきましては、3学期給食がスタートし非常に順調にやっていただいております。大津市では調理員さんがインフルエンザで調理が出来ないということもありましたので、改めて健康管理をお願いしたいと思います。小学校4年生の味噌作り体験、6年生ではお鍋給食ということで多様な取組をやっていただいております。

図書館につきましては、クリスマススペシャルおはなし会に寄せていただき、たくさんのお子さんや保護者の方が参加されていてみなさんのニーズが高いと感じましたし、図書館の職員の皆さんの創意工夫のもとに成り立っていることが嬉しいなと思いました。企画展示やブックスタートも行っていただいておりますし、双葉中学校の図書館大改造の検証授業もやっていただくと聞いています。以上、各課に関する報告とさせていただきます。

委員：ありがとうございました。今御説明いただいたことで委員の皆さんから何かございましたら、ご意見を伺います。

委員：防犯カメラの設置ですが、今は交通事故の時でも警察が見に来ていて非常に関心を持たれています。カメラは全校一斉に取り付けられるのですか。

事務局：今付いていない学校に基本的に4台、玄関、裏口など侵入できるような場所に学校と協議しながら決めさせていただきます。

委員 : 今はデジタルで鮮明に映像が写るようで色んな捜査に役立つと思いますので、しっかりとお願いしたいと思います。

それから、先生方の超過勤務の縮減プロジェクト協議会が2月13日に開かれます。大手企業での問題もありましたが、政府の働き方改革で今年は非常に働き方を見直される年かなと思います。学校ではタイムカードなどはありませんよね。先生の超過勤務というのは申告という形で部活動なども申告されるのですか。

事務局 : タイムカードなどはありません。部活動もカウントしてもらっています。土日については手当が出ますが、その分も超過勤務という形で報告してもらいます。今回報告してもらった中で1か月に80時間以上超過勤務している者については産業医と面談ということで、4人の教員が面談をしてもらいます。

委員 : どうしても部活動の時間はネックになってきますね。組合との絡みもあったり職業の中でも一番難しいかなと思ったりしますが、政府も言っていますし取り組まなければいけない問題なので、しっかりとお願いしたいと思います。

事務局 : 県の教職員超過勤務縮減プロジェクトに入っていますが、最終的な解決策は人です。部活動をどうするかもありますが、なかなか国のスタイルとして定数改善を思い切ってやるところまでの予算措置は難しいということです。そうなった時に先生が少しでも負担が軽くなったと思ってもらえる一番の近道は何かかなと考えた時、学校に対していろんな所からの要望や子どもへの作品募集等が非常に多いので、例えば青少年市民会議が中学生の発表会をしますという時は学校を通さず一般的に中学生に募集をかけ、学校が取りまとめる場所ではないということを入れていけば先生方の負担も変わるのではないかと思います。はたしてそれがプラスかマイナスといった時にマイナスかもしれませんが、学校教育の中身をどうこうというのは非常に難しいので、思い切ってそういう所から県全体で出来ないかなと思っています。スクラップ&ビルドと言われる中で、もっと学校教育の中身に専念し負担を軽減できるように話をしようと思っています。

委員 : 80時間というのは、1か月でということですか。また、本人が超過勤務を申請した人が小中学校合わせて4人だったということですか。

事務局 : 1か月80時間で、小中学校合わせて4人です。

委員 : いろいろと難しい問題で、超過勤務プロジェクトでこれからどういう方向になるかわかりませんが、教育長が言われた事も必要かなと思います。

防犯カメラが付いている所、付いてない所はどこですか。また金額的にどれくらいするのですか。

事務局 : 今のところ米原小、河南小、大原小、米原中、河南中。米原地域の学区は付いています。金額的には1校250万から300万円程度です。

委員 : ジョイ伊吹にも防犯カメラを付けていただいていた見せてもらいましたが、非常にきれいに見えます。各学校4か所というのは外部向けですね。非常階段等の内部向けということではないのですね。

事務局 : 付ける場所は学校にお任せしようと思っています。

委員 : どこに付けるか難しいですが、この間の大原小の爆破予告の時も防犯カメラが役に立っています。

事務局 : ルッチでも防犯カメラが付いており警察に来ていただいて見てもらった案件が3件ありますので効果はあると思います。

委員 : 防犯カメラは防犯対策として市内学校全域にわたるようお願いしたいなと思いました。超過勤務もありましたが、部活が終わってからの先生の個人的な仕事があるところに先ほどのいろんな業務が入ってくると、なかなか自分の仕事が手につかないし校内研修や会議、生徒指導などいろいろあるので大変だなと思います。教育長も言われたように削減していくような形をとらないとまだまだ続くでしょうし、先生によって勤務時間をあげるのかどうか人によってどこまでといった線引きが難しいのかなと思いました。

歴史文化財保護課ですが、いぶき歴史アカデミーや米原市歴史講座は担当の方が変わっていろいろと解説をされていると思いますが、中身的にどのような違いがあるのか、またどのような様子なのかお聞きしたいと思います。

事務局 : 米原市歴史講座は、基本市内の方が対象になります。中身は極力米原市に関わる歴史や自然を年間13回程度のシリーズで、2～3回現地へ行ったりする形の講座です。アカデミーは、市内市外関係なく県外の方も来られ、50～60人程度の申し込みがあります。こちらは少し受講料高くなりますがその分中身も濃く、年間例えば人物なら戦国武将にスポットを当てて、それぞれの武将に詳しい講師に来ていただき、より広い範囲で講座を開く形になっています。歴史講座は基本的に平日開催で、アカデミーは土日の休日開催なので年齢層が下がり若い方も参加いた

だいており、どちらも大盛況です。

委員：歴史講座は人気があり評判が良いです。私も行きたいけれどなかなか寄せてもらえてないので、また寄せていただきたいと思います。

5 議案審議

議案第1号 米原市就学援助規則の一部改正について

【教育総務課】

委員：民生委員さんの欄が昔は表に書いてあったと思いますが。

事務局：民生委員さんの意見欄が裏面の委任状の続きに付いていたのですが、そこに書いてあると申請する時に必要だというふうに思われますので、聞く必要がある場合のみ聞かせていただくということで一番末に持ってきたということです。

原案承認

議案第2号 米原市特別支援教育就学奨励規則の全部改正について

【教育総務課】

委員：需要額の2.5倍という数字の根拠はあるのですか。

事務局：国の基準がありまして、今までは基準を規則に載せておらず国の基準だけでさせていただいていたので、きっちり書いた方が良いだろうということで改正しています。

原案承認

議案第3号 後援等名義使用承認（後援）について

【生涯学習課】

○米原市男女共同参画センター 暴力防止啓発講演会

原案承認

6 報告事項

(1) 後援等名義使用承認(後援)について

7 質疑応答

8 閉 会
次回

第2回定例教育委員会 2月21日(火) 15時30分～山東庁舎 3階 第2委員会室

以上をもって第1回定例教育委員会を午後5時07分に終了した。